

バローHD売上高最高

9月中旬 4220億円、既存店好調

バローホールディングスが12日発表した2024年9月中旬連結決算は、売上高に当たる営業収益が前年同期比5・7%増の4220億1600万円と過去最高を更新した。主力のスーパーマーケット(SM)とドラッグストア(DS)の既存店の売上げが好調だった。純利益は過去2番目の高水準となった。

SM事業は野菜と魚の生鮮部門や生鮮食品を使った総菜、すしが好調。攻勢を強める関西地方に4店舗を新規出店した効果もあって売上高は6・3%増。既存店の売上高も5・2%増と伸長した。

DS事業は猛暑で冷却用品とUV関連商品、8月の南海トラフ地震臨時情報に伴い災害時備蓄品の販売が伸びた。調剤部門の強化で処方箋枚数も増え、売上高は4・3%増。既存店の売上高は2・4%増だった。

ホームセンター事業は猛暑でエアコンなどの季節商品、南海トラフ地震臨時情報で防災関連商品が売れた。EC(電子商取引)部門も伸び、売上高は4・6%増だった。

成長分野と位置付けて今期からセグメントに加えたペットショップ事業は1・4%増。主力の犬猫フードの売れ行きが好調だった。スポーツクラブ事業は会員数の増加などで5・5%増。流通関連事業はSM、DSの販売増で物流が増え、20・2%増だった。

損益面は、DSで薬価と診療報酬の改定で調剤部門の利益率が低下したことに加え、ホームセンターで商品の価格転嫁が遅れたことが要因となって営業、経常利益は減益。純利益は減損損失が5億円以上減り、増益となった。

4～9月のグループ店舗は新設35店舗、閉鎖12店舗で、9月末の総店舗数は1371店舗となった。25年3月期は増収増益を見込んでいる。

県内企業2024年9月中間決算

	売上高		経常損益		純損益		配当
バローHD							
(連)	422,016	(5.7)	12,209	(▲3.4)	6,736	(1.6)	29.00
(予)	840,000		26,400		12,300		68.00
セイノーHD							
(連)	331,604	(5.1)	13,159	(7.7)	6,434	(▲13.5)	43.00
(予)	731,304		33,939		19,707		100.00
レシップHD							
(連)	10,310	(41.8)	1,176	(約2.7倍)	700	(約2.8倍)	0.00
(予)	24,000		1,800		950		10.00

【注】単位は百万円、%、配当は円。
(連)は連結(予)は2025年3月期予想。かつこ内は前年同期比増減率。▲はマイナス。